

2020

さあ、2020年が始まった。オリンピック・イヤーの今年、キミにピッタリな一冊を見つけよう！  
好きな色から、キミの隠された性格とオススメ本がわかるかも!?【参考】「好きな色嫌いな色の性格判断テスト」(青娥書房)

**赤色**が好きなキミは…

開放的で社交的。いつも活発だけど、気まぐれなところも。

2020年 キミのラッキーアクション

周りの人を笑顔にさせて！ キミまで楽しくなるよ！

赤色が好きなキミにオススメ！



『からくりピエロ』40mp/著 KADOKAWA

止められないこの想い。入学したての中学校で、美紅は一目で恋に落ちた。相手は美術部の先輩。勇気を出して告白したのに、答えは「あと一年、待ってほしい」。先輩にはなにか秘密が……？ 涙を隠した道化師はだあれ？ 切なくときめく純愛ラブストーリー！

**青色**が好きなキミは…

何事にも一生懸命。今の生活に満足していて、変化を嫌う。

2020年 キミのラッキーアクション

新しいことに挑戦してみよう！ きっとわくわくするはず！

青色が好きなキミにオススメ！



『希望の図書館』リサ・クライン・ランサム/作 ポプラ社

本の世界は広く、全ての人に開かれている。まだ人種差別が激しかった時代のアメリカ。母の死をきっかけに、父と二人、田舎からシカゴへ引っ越してきた黒人少年ラングストンは、ある日、人種に関係なく利用できる図書館を見つける。そこで出会ったのは、自分と同じ名前の詩人の本。図書館や本との出会いは、ラングストンに希望の光を投げかける。

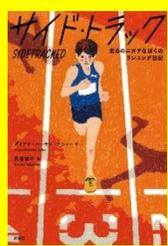
**黄色**が好きなキミは…

知的なキミは、新しいことや、不思議なことに興味津々。

2020年 キミのラッキーアクション

知識をさらに深めよう！ みんなに博士って呼ばれちゃうかも!?

黄色が好きなキミにオススメ！



『サイド・トラック』

ダイアナ・ハーモン・アシャー/作 武富 博子/訳 評論社

ADD(注意欠陥障害)があるジョセフ。そんな僕が走ることに向いているって!?!ピストル音に驚き、走れない。ユニフォーム姿の自分が気になる。完走すること、自己ベストを更新すること。ゆっくりだが1歩ずつ成長をみせ、あきらめないことの大切さに気づかせてくれる物語。

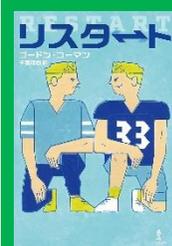
**緑色**が好きなキミは…

人と話すのが得意。皆をまとめるリーダーシップの持ち主。

2020年 キミのラッキーアクション

友達がケンカしていたら、仲を取り持ってあげよう！

緑色が好きなキミにオススメ！



『リスタート』

ゴードン・コーマン/著 千葉 茂樹/訳 あすなる書房  
アンブローズは事故で記憶喪失に。オレはアメフトのキャプテン、町のヒーローだった。だがそれ以上にワルガキで皆に怖がられる存在。今、事故前の自分が全く受け入れられない。本当の友達是谁？過去と向きあい“自分探し”をしていく。



## 『こちら、郵政省特別配達課 (1)』

小川 一水/著 新潮社

その部署、切り札につき。

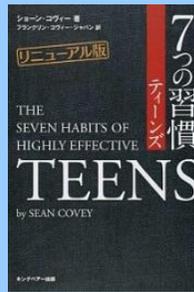
「トクハイ」こと「特別配達課」は、郵政省の特殊部署。コスト度外視、天候不順も時間も無関係。常識をはるかに超えた秘密兵器を駆使して、任務のために駆け回る！どんなものでも、あなたの元へ届けます。



## 『10代のための疲れた心がラクになる本』

永岡 睦雄/著 誠文堂新光社

なんだか憂鬱。しんどいなあ。そんな気持ちになる日だってありますよね。力を抜いて、しんどいことも、コンプレックスも含めて、自分を受け入れられるようになる本です。



## 『7つの習慣 ティーンズ』

ショーン・コヴィー著 キングベアー出版

キミの「習慣」は、なんですか？

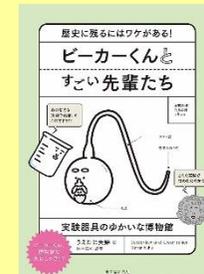
習慣で自分をコントロールする術を学べば、成功も、幸福も手に入る。実際に日本のティーンズが取り組んだ事例の紹介もあり、明日からすぐ取り入れられそうなステップばかり。さあ、たった7つの習慣で、キミも新しい自分を手に入れよう。



## 『ぼくは上手にしゃべれない』

椎野 直弥/著 ポプラ社

きつおん  
吃音（話すときにどもってしまい、言葉が出てこないこと）に悩まされている悠太。これまでは友達づきあひも、自分の意見を言うこともあきらめていたけど、中学入学を機に、思い切って放送部へ！  
勇気を出して一歩踏み出すと、こんなに見える世界が変わるんだ！



## 『ピーカーくんとすごい先輩たち』

うえたに夫婦/著 岡本 拓司/監修 誠文堂新光社

ピーカーくんが博物館に行って、昔の実験器具にストーリーを聞いてまわるよ。17世紀にレーウエンフックが作った顕微鏡。1つの試料につき1つの顕微鏡が必要だったので500個以上作ったなどのおもしろエピソードが満載。シリーズ第3弾。



## 『貸出禁止の本をすくえ！』

アラン・グラッツ/著 ないとう ふみこ/訳 ほるぷ出版  
大好きな本が突然“貸出禁止本”になり、図書室から消えた。そんなのおかしい！  
エイミーは自分のロッカーに貸出禁止本を集めてクラスの皆に貸出をし始めたが、学校にバレてしまった。このまま図書室から本が消えてしまうの!?



## 『もしも坂本龍馬がヤンキー高校の転校生だったら』

井上 ミノル/著 創元社

徳川幕府を高校にたとえて“土佐堀校”から転校してきた坂本龍馬が学園改革をめざす。  
幕末・維新のドラマを“スポ根学園コメディマンガ”にして歴史をなぞる。一人の生徒が学園の経営自体を変える!?  
歴史が苦手なキミにこそ、読んで欲しい1冊。



## 『ナチスに挑戦した少年たち』

フィリップ・フーズ/作 金原 瑞人/訳 小学館

ナチス占領下のデンマークで抵抗運動をした少年たちの実話。なぜ大人はドイツに取り入って金儲けをするのか。なぜ母国に誇りを持たないのか。自分たちの意志を貫くため、少年たちは立ち上がった。自分たちができることは何か。街の中の標識の向きを変えるなど、小さな抵抗から始めていった。

## 下京図書館

〈場所〉下京区の新町通と松原通が交わるところを南に少し進んで。修徳公園の北側にあります！  
〈開館時間〉月・水～金曜日：午前9時半～午後7時半 / 土・日曜日・祝日：午前9時半～午後5時(火曜日休館)  
※火曜が祝日・休日の場合は翌平日が休館

